全国統一要求（抜粋）
1. 全ての公共工事現場で直接工事費分の単価支払いを実現
2. 砕石、砂利、砂、合材などの骨材運搬の収入も１日４万円以上に
3. 過積載復活させるな

ダンプ
建交労全国ダンプ部会

発行所
全日本建設交運一般労働組合
東京都新宿区百人町４－７－２
電話　０３（３３６０）８０２１
毎月25日発行
１部　５０円

公共工事設計労務単価 13年連続で引き上げへ

経済闘争

一般運転手は24，605円 ダンプの仕事と生活を守ろう

国土交通省は、２月14日に２０２５年度の公共工事設計労務単価を公表しました。

国交省は２０１３年度から労務費に法定福利費を加算する措置をおこない、13年連続での引き上げとなりました。全職種平均で昨年比６％増となり、１日あたりの労務費は２４，８５２円です。２０１２年度比（平成24年）で８５．８％の賃上げが実施されたことになります。ダンプの場合は、「一般運転手」が適用され、２４，６０５円（昨年比５．４％増）です。単価改善を実現できる根拠と原資は確保されています。仲間の生活を守る為にダンプの経済闘争に立ち上がりましょう。

国土交通省は新年度の公共工事設計労務単価（日額）を３月から前倒しで適用します。

ダンプ労働者の場合、適用業種の単価は「一般運転手」となりますが２０１２年度は「１３，８５０円」でしたが、新年度は「２４，６０５円」（前年比５．４％増）となります。月22日稼働で計算すると月額約２３．７万円の賃上げです。しかし、過去12年間で引き上げられた分の単価は現場で働くダンプ及び建設労働者の賃金・単価に反映され、支払われていません。

さらに国交省は社会保険未加入対策の強化で事業主（元請及び下請建設会社）が負担すべき必要経費（法定福利費、安全管理費など）を支払わないことは不当行為と断定しています。その割合は各職種の労務単価に対して41％割り増しを示しています。

全国ダンプ部会としてもダンプの常用単価に反映される必要経費として活用し、発注者及び元請各社へ支払われるべきと主張しています。

燃料・物価高騰が際限なく続いている今こそ、私たちが単価引き上げを要求して闘うことが求められています。

日刊建設工業新聞では、主要ゼネコン26社の24年４月～12月「３期分の決算」を公表し、17社が増収と報じました。その理由は「資材価格の高騰を受けながらも設計変更による追加工事で増収を確保した」となっています。

とりわけ鹿島建設と大林組は、３月末の決算では純利益１千億円以上を見込んでいます。仲間の仕事と生活を守る為に各現場で使用促進闘争を全国統一で推進しましょう。

全国ダンプ

令和7年3月から適用する公共工事設計労務単価について　資料１

ポイント

（1）最近の労働市場の実勢価格を適切・迅速に反映し、47都道府県・51職種別に単価を設定

（2）時間外労働の上限規制への対応に必要な費用を反映

全国

全　職　種　（24,852円）　令和６年３月比；＋６．０％

主要12職種※　（23,237円）　令和６年３月比；＋５．６％

※「主要12職種」は通常、公共工事において広く一般的に従事されている職種

主要12職種

職種	全国平均値	令和６年度比	職種	全国平均値	令和６年度比
特殊作業員	27,035円	＋５．６％	運転手（一般）	24,605円	＋５．４％
普通作業員	22,938円	＋５．３％	型わく工	30,214円	＋５．１％
軽作業員	18,137円	＋６．８％	大工	29,019円	＋６．３％
とび工	29,748円	＋４．８％	左官	29,351円	＋６．８％
鉄筋工	30,071円	＋５．９％	交通誘導警備員Ａ	17,931円	＋５．７％
運転手（特殊）	28,092円	＋５．０％	交通誘導警備員Ｂ	15,752円	＋５．７％

注）金額は加重平均値、伸率は単純平均値で算出

国土交通省の発表資料の抜粋（2月14日付）

決起集会で発言する千葉ダンプ支部高橋書記長（2月28日東京・国会）

建設共闘

25年春闘決起集会開催 建設労働者の賃上げを

建交労が参加する「建設首都圏共闘会議と生公連」が共催で２月28日（金）、「建設労働者への大幅な賃金・単価引き上げと週休２日の実現などを求める春闘イエローアクション集会」を東京・衆議院議員会館内で開き、全体で約３００名が集まりました。

集会激励に日本共産党堀川あきこ衆議院議員・立憲民主党小宮山泰子衆院議員が駆け付け、連帯のあいさつをおこないました。上間正央事務局長の基調報告を受けた後に「東京土建、神建連、建交労、生公連」の各組織代表者４名が決意表明をおこないました。

建交労からは、千葉ダンプ支部高橋智書記長が「過積載と低単価がダンプ労働者に押しつけられ、燃料高騰が継続し、生活が大変苦しい。発注者・元請に単価引き上げを求める闘いを展開している」と発言しました。終了後は、参加者全員で国会議員要請行動及びＪＲ新橋駅前にて宣伝行動を実施しました。

2025年春闘アピール 大幅賃上げ実現しよう

大幅賃上げの実現へ、大阪府民・市民にアピールしました（3月9日大阪府内）

自動車パレードで市民へ春闘をアピール（3月2日横浜市内）

関西ダンプ
春闘決起・万博中止 車両パレードを実施

関西ダンプ支部は、３月９日（日）大阪府本部と大阪トラック部会共催による２０２５年春闘勝利・大幅賃上げ実現めざすダンプトラックパレード開催の取り組みに参加しました。ダンプ10台・宣伝カー３台含む37台の車両で大阪市内御堂筋（大阪駅～なんば駅）をパレードしました。

この４月13日から関西万博が行われる夢洲内で①「運送業界の多重下請けの禁止！適正運賃義務化をめざそう！②「運輸・建設労働者の大幅賃上げと労基法改悪反対！③「夢洲で行う万博開催中止！カジノ建設中止！消費税廃止！インボイス制度の廃止をかかげ、１２２名が決起集会に参加しました。

前村実行委員長は、生計費に基づく基本要求の月額４４，０００円以上、日額２，０００円以上、時給２５０円以上の実現、中小企業の経営を守る為には大企業言いなり政治の政治課題抜きに解決出来ない現実、政治の力で大企業が溜め込んだ６００兆円の活用求める共同の闘いと経営者の責務を求め粘り強く交渉し、大幅賃上げを実現しようと訴えました。

来賓４名大阪労連、大阪建設共闘、大阪交運共闘から連帯挨拶をいただきました。日本共産党から清水ただし前衆議院議員が駆けつけ、「石破自公政権のアメリカ言いなり、自民党の裏金は企業献金で集めたお金、財界言いなり政治の実態を告発、深刻な状況にある国民の懐を暖める得策は消費税５％減税が一番、さらに高額療養費の自己負担上限引き上げはいのちに直結する問題、白紙撤回をさせましょう」と訴え、続いて「物価高騰を上回る大幅賃上げで安心して働き暮らせる社会実現の為に共頑張りましょう。危険な舞洲での万博中止・カジノ建設中止を一緒に！９月に行われる参議院選挙で引き続き自公政権を過半割れに追い込み、国民の要求が実現出来る政治を取り戻しましょう」と連帯のあいさつをいただきました。東トラック部会事務局長からパレードの注意事項を説明し、最後に橋本トラック部会長の発声で団結がんばろーで決起集会を締めくくりました。

神奈川自動車パレード 25年春闘をアピール
神奈川ダンプ

神奈川ダンプ支部は、３月２日（日）に神奈川交運共闘が主催する自動車パレードに参加しました。当日は横浜港山下ふ頭に神奈川交運共闘「自交総連、港湾労働組合、検数労連、港運海貨労協、横浜港湾労協」が集まりました。建交労からは、県本部、県南支部、ダンプ支部の代表14名が参加しました。

集会は、神奈川春闘共闘、首都圏交運共闘、日本共産党（あさか由香参議院選神奈川選挙区予定候補）が来賓として連帯と激励のあいさつをおこないました。決意表明では、神奈川県本部高橋書記長が２０２５年春闘で大幅賃上げを勝ち取る為に各単産に結集する各職場で奮闘しようと発言しました。

集会は、富松議長が団結がんばろうを三唱で閉会し、自動車パレードは神奈川県庁からみとみらいエリアまでおこなわれました。神奈川ダンプ支部からダンプ３台がパレードに参加しました。

東北ダンプ
仲間の仕事を支える制度 東北自動車共済を推進へ

東北ダンプ支部は、２月の執行委員会で自動車共済の重要性と取り組みの強化を意思統一しました。支部として宣伝用チラシを５千枚作成しました。この時期は、各分会が実施する「確定申告学習会」に参加する組合員と直接会い対話する機会が増える事から取り組むことにしました。

各分会では以前から東北自動車共済の取り扱いを行ってきましたが、経費の削減に役立つ割引制度や事故対応に活用できるレッカー代補助などのメリットを全組合員に伝えきれていませんでした。

その結果、支部内の共済利用者は一部に止まっています。さらに東北では組合員の家族らが３～４台と自家用車を保有していることから、最低１台でも自動車共済を利用してもらうよう呼びかけます。

同支部では、使用促進闘争の一環で宣伝カー５台の運行やゼネコンや地元建設会社との交渉で闘争を前進させています。引き続き支部活動を支える取り組みとして多くの組合員に協力してもらうよう訴えていきます。

東北自動車共済の利用を呼びかける宣伝チラシ